

「令和4年度第1回野田市生涯学習審議会」の書面表決における 意見（質疑）の要旨

1 議題

(1) 令和5年度公民館の基本方針（案）について

《A委員》

南部梅郷公民館にて、地域プラットフォーム事業の推進とあります。何を推進するか知りたい。

《事務局》

地域と一体になって学校教育活動を推進する「地域教育プラットフォーム事業」において、野田市では、平成20年度からその体制づくりの中核として「学校支援地域本部」を設置しています。子供たちを育むためのこの枠組みの中に、公民館も含まれており、公民館としても、その趣旨に則り、地域や学校との関わりのほか、子育て支援や家庭教育事業を通して、青少年の健全育成を図っています。

この事業の推進のため、各公民館では、学校と家庭、公民館とが相互に関わり合いながら年間計画を立てる家庭教育学級、地域の小学生を対象とする夏休み「子どもの学び舎」を実施しており、南部梅郷公民館では、この他に、子育て支援事業として「公民館に集まろう！みんなのすくすくひろばin南部」、地域の小中学生を対象に、東京理科大学の協力を得て野田キャンパス内で実施する生物多様性講座「のぞいてみよう 里山から顕微鏡まで」などを開設しています。コロナ禍により、令和4年度は事業を中止又は縮小するかたちでの実施となりましたが、地域との相互交流に努め、令和5年度においても、引き続き事業の推進に取り組んでまいります。

また、各中学校（学校支援地域本部）に配置されている地域教育コーディネーターとの連携を図り、キャリア教育等への協力とともに、学校、家庭、地域の連携・協働体制の構築を図ってまいります。

2 報告事項

(1) 令和4年度公民館等利用状況（4月分～1月分）について

《B委員》

木間ヶ瀬公民館の主催・共催事業の参加人数が多くなっていますが、その理由をお聞きしたい。より良い取組を広げていければ、更に良くなると思いました。

《事務局》

木間ヶ瀬公民館の主催・共催事業において、昨年度と比較し人数が増加したものは、次のとおりです。

令和3年度はコロナ禍により実施回数を制限したり、できなかった事業がありました。令和4年度はその制限も少なくなったことから、件数・人数共に増加したものです。

事業・講座名	件数		差	人数		差
	R3	R4		R3	R4	
おはなし広場	5	10	+5	215	280	+65
学校支援・いきいき サロン	1	5	+4	80	276	+196
家庭教育学級 小学コース	2	4	+2	24	142	+118
公民館まつり	0	1	+1	0	421	+421
新春子どもの作品展	1	1	0	163	254	+91
	件数合計		+12	人数合計		+891